

施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け

総合計画 政策の柱	市民の快適な暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	上下水道サービスの質を高める	取組の 基本方向	「上下水道サービスの質を高める」ため、水道水の品質を高め、安定的な給水を確保するための「水道水の安心給水の推進」、快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全を図るための「下水の適正処理の推進」、環境負荷の低減を図るための「上下水道施設・資源による環境保全の推進」、顧客満足度の向上や経営基盤の強化を図るための「顧客重視経営の推進」に、重点的に取り組めます。	政策目標 (基本施策目標)	水道水の高品質化や安定給水、生活排水の適正処理などにより、市民の上下水道サービスへの満足度が向上しています。
--------------	------------------	----------------	----------------	-------------	--	------------------	--

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

①施策名	水道水の安心給水の推進		④ 施策の達成状況	施策指標(単位)	H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標	達成率 (%)	
	②施策目標	高品質な水が安定して給水され、市民が安心して水道水を利用しています。		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値			
③施策を 取巻く環境	国・県等の動向	厚生労働省では、水道の将来像とそれを実現するための具体的な施策、工程を示した「水道ビジョン」の策定に続き、災害時への備えとして、水道施設の耐震化の計画的な実施についての通知がなされるなど、上水道事業として様々な対応が必要とされている。本市においても、上下水道事業の中長期的な方向性を示し、計画的に事業を推進するための「上下水道基本計画」を策定し、施策の実現に必要な事業を実施している。		指標① (総合計画に基づく指標)	-----	17	32	48	63	78	55.1%	
		外部意見 その他	平成21年12月宇都宮市議会第7回定例会における本市の防災対策についての質問の中で、避難者や被災者に対する飲料水の確保が取り上げられている。また、健康志向など顧客ニーズの高度化により、高品質な水道水の供給が求められているとともに、近年の大規模地震の発生などにより危機管理意識が高まる中、ライフラインとしての水道についても、災害や事故発生時の対応力の向上が求められている。		指標②	-----	19	43				-----
			指標③	-----						-----		
					指標④ (特記事項)							-----
⑤ 市民意識調査結果	市民の 施策満足度	65.9%	市民の 施策重要度	89.3%	達成度 (単年度目標)	● 達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	施策指標については、事業の実績値が目標値を大きく上回る結果となっている。また、市民意識調査の「施策満足度」についても、前年度に続き第1位となっている。このことから、事業実績、施策の成果ともに目標を達成している。	⑦ 現状分析と課題の抽出 (③⑤⑥を踏まえた分析)	成果が見られる点 改善の必要な点
			必要性・緊急性 (住民・社会ニーズ)	● 増加している	横ばい	減少している	説明	健康志向や危機管理意識の高まりなど、利用者のニーズが多様化・高度化している。また、市民意識調査の「施策重要度」についても、今年度は第1位となり市民の施策に対するニーズは高い。				
			適切性 (適切な事務事業の選択、実施)	● 十分である	不十分な事業が一部ある	不十分な事業が複数ある	説明	施策目標の達成に向けて、老朽配水管布設替えや漏水調査、浄水場整備など水道水の高品質化および安定給水の確保に係る事務事業を選択・実施している。				
			有効性 (政策目標への効果)	● 十分である	やや不十分である	不十分である	説明	各事業の着実な推進の結果、市民意識調査の「施策重要度」・「施策満足度」ともに市民から一定の評価を受けていることから、政策目標における、上下水道サービスの満足度向上に有効かつ効果的な事業実施となっている。				

3 今後の取組方針

⑧取組の 考え方	総論	施策に対する市民意識調査「施策満足度」・「施策重要度」ともに第1位であり、今後もこれが維持できるよう事業を進めていくが、将来の経営状況なども踏まえて、より効率的・効果的な事業の実施について検討していく。また、国の動向からも今後水道施設として必要とされている、計画的な施設耐震化について検討を進め、基本計画の策定をおこなう。	⑨政策評価 会議意見	・現在、ほぼ全ての市民に水道水が供給されている状態にあるが、今後も高品質で安全な水を供給するために、新しい技術を取り入れながら、水質管理を行っていくとともに、持続可能な水道事業を実現していくため、老朽化した施設・管について耐震化やアセットマネジメントを考慮した施設の改築・更新を計画的に進め、災害や事故に強い水道の整備や危機管理体制の強化等に計画的に取り組んでいくこと。また、安定した給水の確保のため、施設等の適正な維持管理を推進すること。
	重点事業	老朽配水管布設替事業は、政策目標である水道水の高品質化や安定給水に係る本施策の中核となる事業であるため、今後も目標値の早期達成に向け、「老朽配水管布設替計画」に基づき、事業をより一層推進し、おいしい水の供給と災害に強い水道施設の実現に向けた取組を強化する。		
	見直し事業	水源地域の住民との相互交流事業については、将来に向けた安定水源の確保には欠かすことの出来ない事業であるが、事業開始から約20年が経過し、社会を取り巻く環境も変化していることから、新たな事業手法の検討が必要となっている。		

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H20	H21	H20	H21	重点度 (A~C)	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費	事業費			
					実績値	実績値	(千円)	(千円)			
1	老朽配水管布設替 担当課 水道建設課	水道利用者	H20	老朽配水管の更新工事延長 (m)	6,092	8,666	425,054	685,734	A	継続	安全で良質な水道の供給に向けて、配水管の機能や役割を継続的に維持していくため、「老朽配水管布設替計画」に基づき、配水管の布設替を計画的・効率的に実施していく。
					6,596	8,586					
2	漏水調査 担当課 配水管理センター	水道利用者	S48	漏水調査延長 (km)	1,000	750	44,195	44,100	A	継続	効率的な調査に基づく漏水抑制を図るため、過去における漏水履歴や工事の情報等を蓄積した水道施設情報管理システムを活用・分析し、有収率向上に努めていく。
					1,000	750					
3	松田新田浄水場施設整備事業 担当課 水道建設課	水道利用者	H17	ろ過地改造個数 (池)	2	2	320,176	314,448	A	継続	平成24年度までに施設整備を完了させ、施設の効率的な運用を図るとともに、安全でおいしい水の安定供給に努める。
					2	2					

様式 2

4	白沢浄水場施設整備事業	水道利用者	H19	場内施設整備件数(件)	3	5	849,938	565,559	A	継続	平成22年度までに整備事業を完了させ、施設の効率的な運用を図るとともに、安全でおいしい水の供給に努める。
	担当課				水道建設課	3					
5	防災対策	水道利用者 被災した市民	S56	非常用飲料水ポリ袋の購入枚数(枚)	1,300	5,500	250	0	A	継続	地域防災計画に基づく応急給水訓練を実施し、さらに応急給水技術の向上に努める。今後、非常用飲料水ポリ袋については応急給水訓練や災害時の使用分を補充するなどして、目標の枚数を確保していく。
	担当課				企業総務課	1,000					
6	土地区画整理事業による配水管布設	土地区画整理区域内 水道利用者	S63	土地区画整理事業による 配水管布設延長(m)	14,097	9,076	256,823	250,009	A	継続	土地区画整理事業者の依頼に対し、適切かつ迅速に対応し、事業区域の速やかな給水確保を実施する。
	担当課				水道建設課	8,988					
7	未給水区域への配水管布設	未給水者及び未給水地 域	H6	未給水地域への配水管布設延長 (m)	4,090	10,951	171,302	234,284	A	継続	給水要望のある地域に対して積極的に布設を行い、市民皆水道のより一層の推進を図る。
	担当課				水道建設課	5,204					
8	出水不良等による配水管布設	水道利用者	—	出水不良等による 配水管布設替工事延長(m)	3,345	2,431	164,194	202,137	A	継続	上水道サービスのより一層の向上のため、出水不良等の解消を求める要望に対して、工事の経費縮減を図りながら、積極的に対応していく。
	担当課				水道建設課	2,632					
9	配水管移設	水道利用者及び 公共施設管理者	—	配水管移設工事延長(m)	1,840	2,584	120,255	169,768	A	継続	電気・ガス等の工事実施に伴う水道への影響を最小限とするため、工事等の事前情報の収集や関係部署との連携を強化し、配水管移設工事を的確かつ計画的に行う。
	担当課				水道建設課	1,523					
10	湯西川ダムの建設負担金	水道利用者	S60	ダム建設負担金(千円)	420,000	545,328	387,513	433,762	A	継続	上水道サービスとして、今後の水需要に対応し、安定した給水を確保するために、水源確保に係る負担が必要である。負担金については、事業主体である国に対して工事のコスト縮減を継続的に要望していく。
	担当課				水道建設課	387,513					
11	水源地域対策	水源地域及び 水道利用者	H6	水特法・基金事業の負担金(千円)	221,354	360,382	157,579	222,875	A	継続	水源地域の活性化を目的として、負担が必要である。今後も事業主体である栃木県と日光市に対し、コスト縮減、事業内容の精査など、利水者の負担額抑制に向けて協議・要望をしていく。
	担当課				水道建設課	157,579					
12	配水管等図面の電子情報化	水道利用者	H14	図面管理(配水管総延長)(km)	2,956	2,992	8,800	8,674	A	継続	現在、入力更新作業を中心とする入力方法の改善を実施しており、修繕履歴についても継続して入力を実施し、システムを最大限活用していく。
					2,956	2,992					
					図面管理(給水総戸数)(戸)	219,600					
	担当課	工事受付センター			222,879	226,491					
13	直結給水事業	直結給水可能な3階建 以上建築物の水道設 置者	H9	広報紙等への掲載回数(回)	1	4	0	130	A	継続	広報紙、宇都宮市ホームページなどのメディアを積極的に利用するとともに、案内パンフレットを配布し、直結給水の利用促進を図る。
					1	4					
					直結給水受け付け件数(件)	70					
	担当課	工事受付センター			43	49					
14	給水装置工事指導	宇都宮市指定 給水装置工事事業者	H9	指定工事店事務連絡会等の開催回数 (回)	2	2	0	0	A	継続	新規指定給水装置工事事業者及び不受理件数(手直し)が多い指定給水装置工事事業者に対しては特に指導を強化する。
					1	1					
					給水装置工事申請件数(件)	6,450					
	担当課	工事受付センター			6,796	5,867					
15	貯水槽水道への関与	貯水槽水道設置者	H14	個別調査実施件数(件)	500	500	136	60	A	継続	現状の貯水槽水道がどのように管理されているか個別調査を実施するほか、貯水槽水道設置者に衛生管理方法などの指導及び助言をおこなう。
					608	566					
					パンフレットの送付件数(件)	600					
	担当課	工事受付センター			401	475					
16	水源地域の住民との相互交流事業	水源地域及び 水道利用者	H2	水源地交流事業実施回数(回)	2	2	337	267	B	継続	水源地である栗山地区と下流利水地区との住民交流事業について、社会環境の変化を踏まえ、より効果的な事業手法を検討していく。
	担当課				水道建設課	2					
17	応急給水拠点整備	被災した市民	H12	給水拠点の施設数(件)※累計	5	5	0	184,863	C	終了	平成21年度において、応急給水量の確保率100%に必要な施設整備を完了したことから、事業終了。
	担当課				水道建設課	5					
施策事業費合計							2,906,552	3,316,670			